

情報連絡員・関係機関 各 位

高知県中小企業団体中央会
(公印省略)

情報連絡員報告総括表（令和 7 年 8 月次）の送付について

標記総括表を取りまとめましたので、ご参考までに送付いたします。

令和 7 年 8 月次情報連絡員報告のまとめ

※DI とは、「好転」と回答した企業の割合 － 「悪化」と回答した企業の割合。

DI 値がマイナスの場合は、悪化したと回答した企業の数が多いことを示す。

《調査対象：製造業 15 組合等、非製造業 19 組合等 計 34 組合等 回答率：100.0%》

【製造業】では、「在庫数量」(DI 値▲26.7)は 33.4 ポイント前月より悪化した。「収益状況」(DI 値▲33.3)、「設備操業度」「業界の景況」(DI 値▲20.0)、「売上高」「資金繰り」(DI 値▲6.7)、「取引条件」(DI 値 0.0)、「販売価格」(DI 値 26.7)は前月と同水準となった。「雇用人員」(DI 値 13.3)は 6.6 ポイント前月より改善した。

【非製造業】では、「販売価格」(DI 値 15.8)は 10.5 ポイント、「在庫数量」(DI 値▲30.0)は 10.0 ポイント、「資金繰り」(DI 値▲15.8)は 5.3 ポイント、「雇用人員」(DI 値▲26.3)は 5.2 ポイント前月より悪化した。「業界の景況」(DI 値▲31.6)は 5.2 ポイント、「取引条件」(DI 値▲5.3)は 10.5 ポイント、「収益状況」(DI 値▲26.3)は 15.8 ポイント、「売上高」(DI 値▲5.3)は 31.5 ポイント前月より改善した。

【全体】では、「在庫数量」(DI 値▲28.0)は 24.0 ポイント、「販売価格」(DI 値 20.6)は 5.9 ポイント、「資金繰り」(DI 値▲11.8)は 3.0 ポイント前月より悪化した。「設備操業度」(DI 値▲20.0)、「雇用人員」(DI 値▲8.8)は前月と同水準となった。「取引条件」(DI 値▲2.9)は 5.9 ポイント前月より改善した。

なお、主要指標については、「業界の景況」(DI 値▲26.5)は 2.9 ポイント、「収益状況」(DI 値▲29.4)は 8.8 ポイント、「売上高」(DI 値▲5.9)は 17.6 ポイント前月より改善した。

○全業種の景気動向指数(DI 値)は、「売上高」「収益状況」「業界の景況」の 3 指標とも改善した。特に、非製造業の「売上高」は前月より 31.5 ポイント大幅に改善した。

○商店街では、よさこい祭りや夏休みなどの影響で人出が増加し、大いに賑わいを見せた。また、旅館ホテル業では、NHK 連続テレビ小説「あんぱん」の効果もあり、秋の行楽シーズンの予約が好調であるとの報告があった。

○一方で、原材料やエネルギー価格の高騰、人手不足が依然として経営課題となっており、先行きを不安視する声も寄せられている。

県内各業界別の動向

<令和7年8月>

高知県中小企業団体中央会

1. 情報連絡員報告総括表

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備投資率			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 <																												

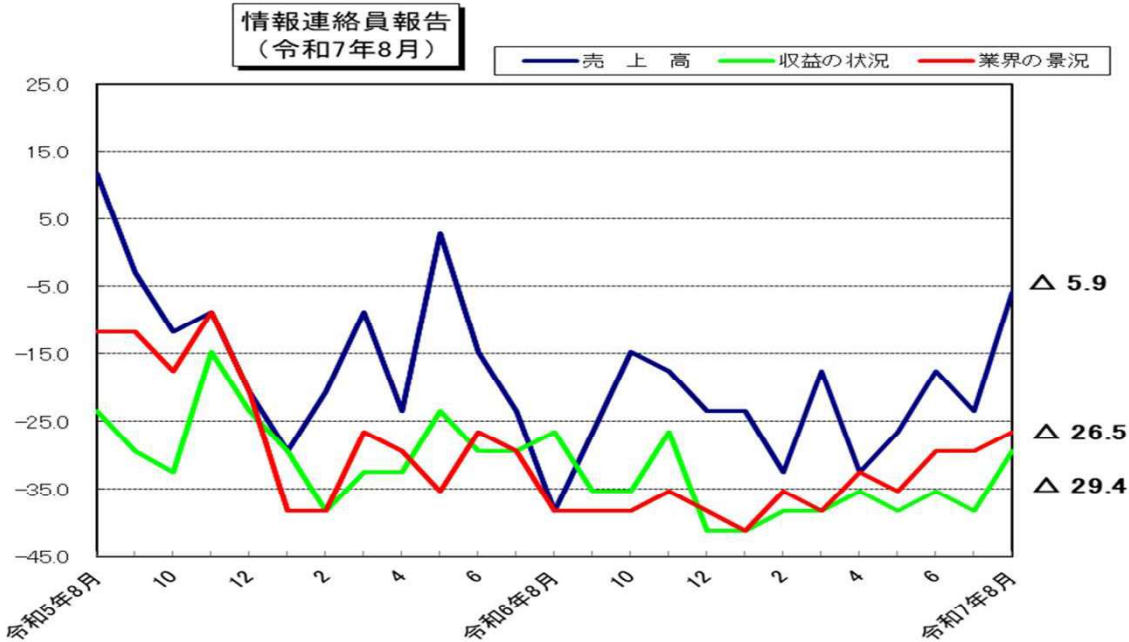
2. 景気動向指数（売上高、収益の状況、業界の景況）

【7月分集計】

	売上高	収益の状況	業界の景況
製造業	▲ 6.7	▲ 33.3	▲ 20.0
	増加： 3 / 15	好転： 0 / 15	好転： 0 / 15
	不変： 8 / 15	不変： 10 / 15	不変： 12 / 15
	減少： 4 / 15	悪化： 5 / 15	悪化： 3 / 15
非製造業	▲ 36.8	▲ 42.1	▲ 36.8
	増加： 2 / 19	好転： 1 / 19	好転： 1 / 19
	不変： 8 / 19	不変： 9 / 19	不変： 10 / 19
	減少： 9 / 19	悪化： 9 / 19	悪化： 8 / 19
全体	▲ 23.5	▲ 38.2	▲ 29.4
	増加： 5 / 34	好転： 1 / 34	好転： 1 / 34
	不変： 16 / 34	不変： 19 / 34	不変： 22 / 34
	減少： 13 / 34	悪化： 14 / 34	悪化： 11 / 34

【8月分集計】

	売上高	収益の状況	業界の景況
製造業	▲ 6.7	▲ 33.3	▲ 20.0
	増加： 3 / 15	好転： 0 / 15	好転： 0 / 15
	不変： 8 / 15	不変： 10 / 15	不変： 12 / 15
	減少： 4 / 15	悪化： 5 / 15	悪化： 3 / 15
非製造業	▲ 5.3	▲ 26.3	▲ 31.6
	増加： 6 / 19	好転： 3 / 19	好転： 1 / 19
	不変： 6 / 19	不変： 8 / 19	不変： 11 / 19
	減少： 7 / 19	悪化： 8 / 19	悪化： 7 / 19
全体	▲ 5.9	▲ 29.4	▲ 26.5
	増加： 9 / 34	好転： 3 / 34	好転： 1 / 34
	不変： 14 / 34	不変： 18 / 34	不変： 23 / 34
	減少： 11 / 34	悪化： 13 / 34	悪化： 10 / 34



8月の県内各業界別の動向

(前年同月比)

	業 種	売上 受注	在庫 数量	販売 価格	取引 条件	収益 状況	資金 繰り	操業 度	雇用 人員	業界 景況
製造業	食料品(団地) 県食品工業団地	☀	☀	☀	☼	☼	☼	☀	☼	☼
	"(酒類) 県酒造	☼	☂	☀	☼	☂	☼	☂	☼	☂
	繊維製品(帆布製品) 県テント・シート	☼	☂	☀	☼	☼	☼	☼	☼	☼
	木材・木製品(素材) 素材生産業	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼
	"(一般/県域) 県木材	☂	☼	☂	☼	☂	☂	☼	☼	☂
	"(一般/県域) 県建具	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☂	☼
	製紙(機械すき) 製紙工業会	☀	☂	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼
	製紙(手すき) 県手すき和紙	☼	☂	☼	☼	☼	☼	☂	☼	☼
	印刷(印刷) 県印刷	☂	☼	☼	☼	☂	☼	☂	☼	☂
	窯業・土石(生コン) 県生コンクリート	☂	☼	☼	☼	☂	☼	☂	☼	☼
	"(コンクリート製品) 県コンクリート製品	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼
	鉄鋼金属(鍛造) 土佐刃物	☀	☂	☀	☼	☼	☼	☼	☀	☼
	"(団地) 機械工業団地	☼	☼	☀	☼	☂	☼	☼	☀	☼
	輸送機器(船舶機械) 四国建機	☂	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☀	☼
	その他製造業(珊瑚) 日本珊瑚	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼
非製造業	卸売(団地) 卸商センター	☀	☼	☀	☼	☀	☼		☼	☂
	"(青果) 高知中央市場青果仲卸	☂	☂	☂	☼	☂	☼		☼	☂
	"(鮮魚) 高知中央市場鮮魚仲卸	☀	☼	☼	☼	☼	☼		☼	☼
	小売(一般/四万十町) しばてんカード	☂	☂	☼	☂	☂	☂		☼	☂
	"(家電) 県電機	☀	☂	☼	☼	☀	☼		☼	☼
	"(中古車) 県中古自動車	☼	☼	☼	☼	☼	☼		☂	☼
	"(石油) 県石油商業	☂	☼	☂	☼	☂	☂		☂	☂
	商店街(安芸市) 安芸本町	☂	☼	☀	☼	☂	☼		☼	☂
	商店街(高知市) 帯屋町筋	☼	☼	☼	☼	☼	☼		☼	☼
	"(四万十市) 四万十市商振連	☼	☼	☀	☼	☼	☼		☂	☼
	サービス(旅館) 県旅館ホテル	☀		☼	☀	☀	☼		☼	☀
	"(飲食店) 喫茶飲食	☼		☀	☂	☂	☼		☼	☂
	"(旅行) 県旅行業	☀		☼	☼	☼	☼		☼	☼
	"(情報) IT事業	☀		☼	☼	☼	☼		☼	☼
	"(クリーニング) 県クリーニング	☂		☼	☼	☂	☂		☼	☂
	建設(一般/県域) 中村地区建設	☂		☼	☼	☂	☼		☼	☼
	"(電気工事) 県電気工事業	☼		☀	☼	☼	☼		☼	☼
	運輸(トラック) 高知総合輸送	☂		☼	☼	☂	☼		☂	☼
	"(タクシー) 高知市ハイヤー	☼		☼	☼	☼	☼		☂	☼

情報連絡一覧票

集計上の分類業種		具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	食料品製造業（団地）	8 月度の県内市況は、観光（よさこい・お盆・夏休み）効果が前年より好調であった。県外市況はほぼ前年並みであり、全般的には好調と言えた。収益性についてはまだまだ諸物価の上昇を補うことが出来ていない状況下であり、厳しいところである。
		酒類製造業	出荷量前年並み。酒造りの時期となったが原料米の価格高騰で生産の調整もあり得るか。
	繊維工業	帆布製品製造業	原材料の高騰について、販売価格への転嫁ができつつあると思われる。製品の値上げは落ち着いた雰囲気だが、まだまだ厳しい状況である。
	木材・木製品	木製品素材生産業	8 月期の原木出材量は、減少気味となっており、丸太価格についても、引き合いはあるものの、製材品の動きがあまりよくない。樹種や大きさにより多少の違いはあるが、全体的には横ばい状況。今後、秋口にかけて原木入荷量は増えてくるが、原木価格については、引き合いはあるものの、市況の動向が悪く大きな変動は見込めない状況。
		一般製材業	荷動きは鈍く、売上は当面減少傾向が続くとの声が多い。
		建具製造業	仕事量は全体的に少ない。建材と金物の値上げがまだ続いている。高齢の建具職人さんが引退していつている。
	紙・紙加工品	機械すき紙製造業	紙製品全体の販売金額は前年同月比で上回ったが、販売量及び生産量は前年同月比で下回った。その中で雑種紙は、先月に続き販売金額・販売量・生産量のいずれも前年同月比で上回った。一方、衛生用紙の販売金額・販売量・生産量は、前年同月比で下回った。
		手すき紙製造業	不透明な国際情勢により原材料・諸経費等の高騰が続いており、物価高も続くなどまだまだ厳しく、引き続き注視する必要がある。
	印刷	印刷業	売上減少、操業度低下。大変厳しい結果となった。県内需要、県外需要とも振るわなかった。特に官公需の落ち込みが顕著だった。
	窯業・土石製品	生コンクリート製造業	7 月度の組合員の単月出荷量は、対前年比86.6%、4 月からの累計出荷量も対前年比83.6%で若干増加傾向がみられるが、引き続き低調であった。単月出荷量は、中部・幡多地区は増加傾向にあるが、東部・嶺北・中央地区は減少傾向にある。
		コンクリート製品	対前年同月比140.2%と、先月から持ち直している。今後この傾向が続くと考えている。
	鉄鋼・金属	刃物・金物類製造業	県内への販売は昨年を大きく下回ってしまい心配したが、県外（海外含む）への販売、小売販売が良く、総合的には昨年を上回る結果となった。9月はアメリカの関税政策により、よく使っているEMS便が状況が落ち着くまで受付をしなくなっているのが困っている状況である。
		金属製品製造業（団地）	需要が伸び悩む中、原材料費等のコスト増に見合う価格転嫁を行うことなどにより、団地内の業況は横ばいの推移となっている。最低賃金が大幅に引き上げられる一方で、熟練者の高齢化や従業員確保に苦慮する事業所は多い。
	輸送機器	船舶製造・修理業	8 月も納期の契約数が少なく、昨年より売上高は減少した。受注金額は前年同月を上回っている。
	その他の製造業	装飾品・同関連品製造業	8 月度の取引額は前年同月比で151%となり、4 カ月連続で前年を上回る結果となった。
	卸売業	各種商品卸売業（団地）	8 月お盆時期は、天候の影響はあったと思われる。よさこい時期の雨は、飲食関係に悪い影響があった。景気回復は感じられない。仕入商品、電気代など値上がりしているものの、販売価格に転嫁できていない。
		青果卸売業	8 月の取扱高は、組合員全体で前年対比78.8%となり大変厳しい状況。特に野菜の売上が悪く入荷量、単価ともに大幅ダウン。果物は落ち込み幅は少ないが、お盆商戦など販売は伸びなかった。今年 1 月から 8 月までの累計でも93.9%となり、かなり深刻な状況。
		生鮮魚介卸売業	R 7 年、R 8 年度より、売上高は増加した。お盆の前から、カツオが順調に入荷してくれた。黒潮大蛇行による影響が心配である。戻りカツオのシーズンである。
	小売業	各種商品小売業（四万十町）	8 月は各地で祭りや花火大会が催されるなど、季節性イベントが盛んな月である。地域内のみならず、地域外のイベントに訪れた人が当町で宿泊するなど、多くの移動人口が流入する月であった。しかし地域内の商店では、お盆の時期の特需的な購買活動（里帰りに合わせた寝具の新調など）は影を潜め、毎年この時期に合わせて行っている当会のポイント5倍セールも振るわずの状況であった。
		電気機械器具小売業	8 月度は金額で前年比102%。省エネタイプエアコン前年比101.3%。ドラム式洗濯機前年比102%。4K8K大画面テレビ前年比94%。住宅リフォーム金額で前年比104%であった。
		中古自動車小売業	中旬以降、来客数が増加。それに伴い展示車両の販売以外に注文件数が増えている。先月同様軽自動車、普通車ともに高年式車両の販売や注文が多いが、相場高騰・タマ不足により、仕入に苦戦している。
		ガソリンスタンド	8 月の新補助額は月末には10.5円となり政府の補助金限度額を超えている。政府からは暫定税率の廃止をする話も全く進まず暫定税率は廃止し、別に自動車走行税をとるとの話もあり、ガソリン税は下がったが他の税が上がったのでは消費者の皆様にとってはなんの得もないということになる。エネ庁調べ25日現在高知県の平均ガソリン現金価格は173.7円で全国24番目となっている。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種		具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	商店街	安芸市	例年 8 月に開催していた「商い甲子園」は、近年の猛暑による参加者及びお客様の熱中症リスクを配慮し、日程を10月26日（日）に変更した。
		高知市	駐車場状況について、利用台数は前年の111.3%（2,770台増）、料金収入は前年の105.0%（497千円増）。第72回よさこい祭りは、例年通り8月9日（前夜祭）から12日（全国大会）までの4日間にわたり開催された。本祭の2日間（10日・11日）は悪天候下での実施となったが、人流カメラ（5台設置）による集計では、4日間合計で前年同期比17.2%増の入出が確認された。なお、前年（第71回）は、開催直前の8月8日に南海トラフ地震臨時情報が発令された影響もあり、人流がやや抑制されていた。8月のクルーズ船の入港数は11隻と、前年の7隻から大幅に増加した。入港当日は、午前中から多くの外国人観光客が商店街を訪れ、大きな賑わいを見せた。
		四万十市	夏休み中、それもお盆休み等と重なり商店街は家族連れで賑わった。土曜夜市は小雨決行でスタートしたが、それほど降らず盛況で終了した。
	サービス業	旅館・ホテル	台風や地震など大きな自然災害がなく、安定して収益を確保できた。万博で宿泊客が関西圏に取られる懸念もあったが、夏休みシーズンの8月は学生団体の宿泊もあり比較的堅調に推移。秋の行楽シーズンの予約も好調で「あんぱん」効果が表れたのかもしれない。
		飲食店	8月は比較的天候にも恵まれ、また集客に悪影響を及ぼすようなネガティブなイベントもなかった。天候が不順だった前年同月と比べると売上は安定しており、前年同月をやや上回った。前年度同月に比べ更に物価は高騰。光熱費、仕入価格、人件費、ありとあらゆるものが上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
		旅行業	組合クーポンは前年同月対比で大幅増（約3倍）となった。全旅クーポン合算後、前年同月対比145%。組合員が1社増加、新規入会組合員は従来の旅行業者と異なり、経営方針も多種多様である。従来の営業方針について見直しも必須であると感じている。
		情報サービス業	今月の売上は、大口案件の獲得もあり前年比50.4%増と大幅に伸びを示した。一方で、過去5力年の平均値との比較では87.2%水準にとどまり、依然として好調時の実績には届いていない。とはいえ、回復基調が見え始めている点は明るい材料である。また、当組合は11月21日に設立20周年を迎える。節目の年にあたり、組合員一人一人が得意分野を持ち寄り、知見と経験を結集することで、さらなる売上拡大につなげていきたい。
		普通洗濯業	物価高による節約志向、猛暑の影響か点数減少による需要の減少が続いている。クールビズや家庭洗濯が出来る衣料が増えているのも一因。リネン業界は好調だが、人手不足が課題。修理・かけつぎ・和服洗い張り・仕立て・カーペット下請けなど関連の業種が極端に少なくなっている。
	建設業	一般土木建築工事業	高知県発注の工事件数が減少傾向にある。落札者にも偏りが見られる。
		電気工事業	組合員の施工する電力引込線工事業量は、前年同月比62.1%となった。高知中央地区が前年同月比82.8%、香長地区が16.8%、安芸地区が52.9%となったことが影響している。
	運輸業	一般貨物自動車運送業	燃料価格もじりじりと値上げとなってきており、ドライバー不足の上に物量も伸び悩んでいるようで、組合員事業者の経営は厳しい状態が続くとみられている。
		一般乗用旅客自動車運送業	実働1日1車当りの前年同月対比運送収入：101.3%、回数：98.2%、実働率：51.8%。よさこいの夏も終わり秋の観光シーズンだが、観光にタクシーを利用される方はそれほど無く、忙しかった夏を惜しんでいる。なお、地域アプリ（こちタク）も少しずつ登録者数も増えている。本年4月～8月20日の間で2,400名の方に登録していただいた。多くの方の登録に期待している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
卸売業	各種商品卸売業（団地）	インボイス制は事務負担が大きいと、廃止するように働きかけて欲しい。
サービス業	飲食店	業界の売上はコロナ禍以前との比較で8～9割と厳しい。原材料や光熱費の高騰は収益を圧迫、更にコロナ時の特別貸し付けの返済も始まり、経営が厳しい事業者も多い。そもそも物価高により県内の消費者の購買意欲が相当下がっており、集客が覚束ない。経営状態の改善は急務、補助や助成等事業改善のサポートが必要。
	情報サービス業	補助金などの最新情報があれば教えて頂きたい。
	普通洗濯業	エネルギー価格の抑制を早急をお願いしたい。インボイス制度廃止の要望は相変わらず強い。資材価格、人件費高騰が続く中、消費税減税など何らかの対策を求める。